



津小だより

〒959-4402 阿賀町津川3234

R 7.10.10 №.6

6 1房のぶどう

校長 阿部 順延

日暮れも早くなり、朝晩の涼しさが秋の訪れを感じさせる季節となりました。先日の熊対応では、保護者、地域の皆様から子どもの安全な登下校にご理解・ご協力いただき大変ありがとうございました。10月は熊の出没が最も多い月と言われています。今後も児童の安全な登下校を「地域で見守る」ご協力をよろしくお願ひいたします。



さて、津川小学校の児童玄関に「6 1房のぶどう」が実りました。これは8、9月の生活目標「だれにでもあいさつしよう」の取組の成果です。自分から進んであいさつ、「先手あいさつ」ができたら、ぶどうの実を1粒実らせます。全校94名で1週間取り組み、あいさつの実が豊作となりました。スクールガードの皆さんや地域の皆様から「津小の子どもたちは進んであいさつができた気持ちがよいです。」とお褒めの言葉をいただきました。あいさつは、大人になっても社会の中で生きていくために大切な「生きる力」となります。これからも家庭と地域、学校で、進んであいさつする気持ちよさを子どもたちに伝えていきましょう。



保護者、地域の皆様へ 10月25日（土）は 津川小文化祭 です

子どもたちの思いが込められた世界に一つだけの絵画、工作の力作をぜひご覧ください。

さらに、ゑちご亭 逆夫 様、遊求亭 桜庵 様を講師にお迎えし、PTA文化教養部主催の「津小演芸会」（午前9時30分～11時10分）を開催します。作品展示は14時30分までです。保護者、地域の皆様のご来校をお待ちしています。

次頁～「津川小学校の前期学校評価の結果」、「学びのあしあと」もご覧ください。

保護者、地域の皆様より貴重なご意見をいただきありがとうございました。今後の学校経営の参考にさせていただきます。今後とも津川小学校の教育活動へのご理解、ご協力をよろしくお願ひいたします。



令和7年度 前期学校評価の結果報告

阿賀町立津川小学校

※前期学校評価の結果です。成果目標の達成に向けてこれからも取組を続けていきますので、ご協力をよろしくお願ひいたします。

	評価項目	評価	評価基準
知育	成果目標	国語、社会、算数、理科のワークテスト「思考力・判断力・表現力」の問題で、正答率70%を上回る児童を全校の70%以上にする。	A(89. 9%) A: 70%以上 B: 60%以上
	教育活動	説明活動を意識的に取り入れた授業を実施する。	A(80%) A: 肯定的評価の割合80%以上 B: 肯定的評価の割合60%以上
	運営活動	説明活動の理解を深め、授業実践を支援するための研修会を2ヶ月に1回のペースで行う。	A(4ヶ月;3回実施) A: 2ヶ月に1回以上 B: 2ヶ月に1回未満
	【参考】保護者・児童アンケート	毎日「10分×学年」の家庭学習をしている。	児童 (88. 3%) 保護者 (97. 9%) 参考資料(評価対象外)
	【結果について】	◎成果目標は89. 9%でA評価でした。 対象教科を4教科(国・社・算・理)に増やし、全校体制で『論理的に説明できる児童の育成』を目指して研修しています。児童間で説明し合う場を数多く設定したことが思考力・判断力・表現力の向上にプラスになって働いたと考えます。	
德育	【今後の取組】	①どの教科(授業)のどんな手立てが思考力・判断力・表現力を伸ばすことに有効に働いたのかを、職員で研修を重ねて確かにします。 ②朝学習で、国語・算数・読書をバランスよく行い、基礎的は学力育成の場を設けます。	
	【家庭へのお願い】	※「10分×学年」の家庭学習は昨年同様にほぼ定着しています。お子さんがどのように家庭学習に取り組んでいるのか、学習の様子や自学ノートを時々確認していただけると有り難いです。励ましやアドバイスも引き続きお願いします。	説明し合う場の設定
	成果目標	自分や友達のよさを見付けることができる児童を全校の80%以上にする。	A(三者共に80%以上) 教 師 92. 6% 児 童 93. 6% 保護者 93. 6% A: 三者とも80%以上 B: 二者が80%以上
	教育活動	各教科や縦割り班活動において、自他を認め合う場を学期に1回以上設定する。	A(全学級が2回以上実施、縦割り1回) A: 学期に1回以上全学級が実施 B: 学期に1回以上4つの学年が実施
	運営活動	自分や友達のよさを見付けたり、認められたりする活動の提案や紹介を学期に1回以上行う。	Aで進行中(1回実施) A: 年3回実施 B: 年2回実施
体育	【参考】保護者・児童アンケート	進んであいさつしている。	児童 (96. 8%) 保護者 (95. 7%) 参考資料(評価対象外)
	【結果について】	◎成果目標は三者共に90%以上でA評価でした。 自己肯定感を高めるための、校内で自分や友達のよさに目を向ける取組を行ってきたこと、各ご家庭でお子さんのよさやがんばりを認める声掛けを積極的に行っていただいたことが相乗効果となって評価に表れていると考えます。	
	【今後の取組】	①Q-U(よりよい学校生活を送るためのアンケート)の結果から学級経営の方針を考え、学校職員全体で共有し、学級での活動・縦割り班活動・学校行事に活かすことで、よさの再発見につなげます。 ②あいさつされてから返す児童が多いという実態を踏まえ、『先手あいさつ運動』を行うことで先にあいさつすることの意義を伝えて、あいさつのレベルアップを図ります。	
	【家庭へのお願い】	※ご家庭における様々な場面で、お子さんががんばりやよさを見付けてタイムリーに褒めていただきありがとうございます。 『～してもらって助かったあ。』『～できるなんてすごいねえ。』等、お子さんが自己有用感や成長を実感できるような言葉がけをこれからもよろしくお願いします。	あいさつ(津)レンジャー
	成果目標	20mシャトルランで、春の体力テストと比べて向上した児童を全校の70%以上にする。(前期は、昨年度の記録と比較;2~6年)	A(78. 5%) A: 70%以上 B: 60%未満
保護者の声	教育活動	体育授業で準備運動を兼ねてランニングタイムを実施する。	A(全学年で実施) A: 全学年が実施 B: 4つの学年が実施
	運営活動	学期に1回「津小運動タイム」を実施し、多様な運動に親しみながら持久力を高める場を設ける。	Aで進行中(全校で1回実施) A: 年3回実施 B: 年2回実施
	【参考】保護者・児童アンケート	学年に合った就寝時刻までに布団に入っている。 (低学年9:00 中学年9:30 高学年10:00)	児童 (68. 1%) 保護者 (62. 8%) 参考資料(評価対象外)
	【結果について】	◎成果目標は78. 5%でA評価でした。(昨年度の記録との比較なので、あくまでも参考評価) 体育授業開始と同時に走り出すランニングタイムが、全学年習慣化されています。また、昼休みに様々な友達と体育館やグラウンドでボール運動や鬼ごっこ、百樹園での虫探し等、体を動かして遊ぶ児童が大勢います。そのことが、体力の向上に役立っていると感じます。	
	【今後の取組】	①6月の20mシャトルランの記録を各自に確実に伝え、個に応じた目標を設定させてから後期の測定を実施します。 ②就寝時刻に関して、睡眠時間の大切さについての啓発活動を継続していきます。	
保護者の声	【家庭へのお願い】	※就寝時刻に関して、今回も『習い事で遅くなる日を除いて』ということで回答していただきましたが、児童・保護者共に70%に達することはできませんでした。ご家庭において、睡眠が不足するとどんなリスクがあるのか、さらに、どうやったら学年の就寝目標時刻に布団に入れるのかについて、話し合いと指導の場を確実に設定してください。 【学年の就寝目標時刻: 低学年は9時 中学年は9時半 高学年は10時】	津小運動タイム
	※保護者の皆様からいただいた貴重なご意見を夏季休業中に全職員で共有しました。一部ではありますが抜粋し、ご返答(⇒)させていただきます。		
	・フリー参観の日が弁当持ちなので、昼休みにやっていた学習発表会を(全学年)その日の午後にやってほしいです。 ⇒全学年の発表を同じ日に行えば見に来られる保護者の皆様にとってよいのかと思いますが、発表したい内容と学習時期は、各学年様々です。よって現状のような形が、担任・児童共に無理がなく一番やりやすい形です。(フリー参観日は例年6月に行っているので学習したこと発表する時期としては早すぎます。また、文化祭は作品づくりがあり、学習発表会と同時にすると児童にとって負担が大きくなります。)		
	・教育の現場でもDXを推進し、紙や労力を削減できるように進めていけたらと思います。普段の配布物をはじめ、進級時の地図描き、予防接種の記載など、先生や保護者の作業も減らせるといいですね。 ⇒各種アンケートや申し込みをQRコードを読み込んで行えるように移行しています。今後は、メールサービスでよいもの、紙での配布が必要なもの等についてさらに検討を加え、保護者・職員双方の負担軽減に努めていきたいと考えています。		
	・いつも温かくご指導ありがとうございます。子どもも毎日楽しく学校生活を送っているようです。 ⇒こちらこそ、登下校の付き添いや地域の見守り等、様々な場面で多大なるご協力をいただきありがとうございます。これからも安心・安全に気を配り、子どもの気持ちに寄り添いながら教育活動を進めて参りますので、ご協力をよろしくお願いします。何か気になること等がありましたら、お気軽にご相談ください。		

地域とともに 津川小 学びのあしあと



＜1、2年生「バッタリンピック」＞
＜3年生「新谷川 川遊び」＞
阿賀まちづくり株式会社堀口一彦様から講師をしていただき、阿賀町の自然を満喫しました。



＜祖父母参観＞
祖父母の皆様より、昔遊び、釣の打ち方やのこぎりの使い方、ミシンの扱い方などについて、子どもたちに優しく教えていただきました。ありがとうございました。



＜避難訓練＞
阿賀町消防本部の皆様から火災による避難の仕方をご指導いただきました。さらに、消防隊による消火訓練の見学や濃煙テント体験を行いました。火災や煙の怖さや対処法を学びました。



＜4年生 やまぶきの里 訪問＞
施設利用の方々と話したり、一緒に遊んだり、学習したことを聞いてもらったりして交流を深め、福祉の心を広げました。



＜5年生 和舟体験＞
雪椿の学習でいつもお世話になっている、江花一実様から講師をしていただき、5年生は阿賀野川で「和舟体験」を行い、和舟の漕ぎ方や港町の歴史について学習しました。



＜6年生 佐渡修学旅行＞
佐渡の文化と歴史を学びました。砂金採りやたらい舟体験、ろくろ体験などを行いました。阿賀町の歴史と文化との違いを感じ、それぞれのよさについて学習を深めました。

第61回東蒲原郡児童・生徒科学研究発表会 がんばりました！

身近な事象に疑問をもち、よく調べて発表できました。

- 3年 榎本 悠杜 さん 「花は水と炭酸水どちらが育つか」
- 4年 伊藤 圭史 さん 「ストローのびっくり超能力」
- 5年 波田野 美遙 さん 「白い花を着色料でそめよう」
- 6年 井黒 莉菜 さん 「氷が溶けにくいコップは何か」

